

■7月1日（水） <極人に聞く>

山下 洋輔（やました ようすけ）

ジャズ・ピアニスト、国立音楽大学招聘教授  
「魂の音楽 ジャズの魅力」



1969年、山下洋輔トリオを結成、フリー・フォームのエネルギッシュな演奏でジャズ界に大きな衝撃を与える。国内のみならず世界各国で演奏活動を展開し、佐渡裕、オーネット・コールマン、セシル・テイラーらと共演。他分野への進出、コラボレーションにも積極的であり、映画音楽も手がける。1999年芸術選奨文部大臣賞、03年紫綬褒章、12年旭日小綬章を受章。国立音楽大学招聘教授。演奏活動のかたわら、多数の著書を持つエッセイストとしても知られる。

■7月7日（火） <気鋭の論客に聞く>

伊藤 元重（いとう もとしげ）

東京大学大学院経済学研究科 教授  
「国際経済と日本の課題」



東京大学経済学部卒業。専門は国際経済学。米国ロチェスター大学 Ph.D 取得後、米国ヒューストン大学経済学部助教授として教鞭を執っていた際、ベストティーチャーに選ばれる。ビジネスの現場を歩き、生きた経済を理論的観点も踏まえて分析する「ウオーキング・エコノミスト」として知られ、日本経済新聞や様々なビジネス誌・経済誌への寄稿も多数。テレビ東京「ワールドビジネスサテライト」コメンテーターなどメディアでも活躍中。

■7月16日（木） <社会の問題解決に挑む>

村木 厚子（むらき あつこ）

厚生労働事務次官  
「女性がいきいきと働く社会」



高知県出身。1978年高知大学文理学部経済学科卒業。男女平等が当たり前ではなかった時代に、旧労働省に入省。当時は、仕事の1つとして、30人ほどの同僚に対する毎朝のお茶淹れがあったという。いまや中央省庁で史上2人目の女性事務次官に登りつめた村木氏。自らも2女の母として仕事と子育てを両立させながら働く女性をめぐる問題に取り組んできた。

■7月22日（水） <気鋭の論客に聞く>

富山 和彦（とやま かずひこ）

株式会社経営共創基盤 代表取締役 CEO  
「日本はローカル経済で甦る」



東京大学法学部在学中の1984年に旧司法試験に合格。1985年3月に同大学を卒業しボストンコンサルティンググループ入社。翌年、コーポレートディレクションの設立に携わり、設立後は経営戦略の立案やその実行支援を担当。1992年にスタンフォード大学経営学修士取得後、2001年にコーポレートディレクションの代表取締役社長に就任。その後、政府の打診により、2003年産業再生機構の設立にCOOとして参画。2007年コンサルティング・企業再生を取り扱う(株)経営共創基盤(IGPI)を設立し、現職。政府のJAL再生タスクフォースサブリーダーも務めた。